

DIY

自分でやってみよう♪
住まいを快適にΣ(・ω・ノ)!

DIYってなに?

Do it yourselfの略で「ディー・アイ・ワイ」と呼ばれています。自分で日用品を新しく作ったり、修理したり、飾ったりすることを言います。日曜大工とは違い、100円ショップで購入できる素材などで手軽に日用品を作ることができ、女性を中心に広まっています。もちろん、女性に限らず男性も趣味としてDIYをする方もいらっしゃいます。

そもそもは、第二次世界大戦でドイツ軍により攻撃を受けたロンドンの破壊された街を自分たちの手で復興させようとした運動から発したもので、自分でできることは自分で行おうという姿勢からきていました。普段から何気なく耳にする言葉ですが、復興運動が関わっているなんて驚きですね♪奥が深い！

DIYは自分で作ったり、修理したりするので施工業者などに頼むよりも費用が安くつきます。（建築会社がこんなことを言ってもいいものか……）



100均リメイクシートで洗面所リメイク

~洗面所の扉にDIYします~

①



ダイソーのリメイクシートです。
手軽に手に入れることができます。

②



リメイクシートを貼る前にはこりなどが入り込まないように表面を綺麗に拭きます。次に取っ手も外します。

③



左上部から貼り、上から空気が入らないように手のひら全体を使ってシートを押さえながら、貼っていきます。

④



カッター、定規を使って扉の大きさに合わせてカットします。

⑤



完成写真がこちらです。
シンプルだった洗面下がウッド調の素敵なおしゃれになりました♪



このようにDIYを施すと、ガラリと雰囲気が変わり、今までとは違った雰囲気で生活を楽しむことができます♪自分で作ることで愛着も湧きますし、より一層家を大切に使うことができます。ぜひお家で試してみてください♪

はまホームから発信！ 世界遺産の旅 vol.6

今月は、vol.3で紹介していた文化遺産（タージマハル）をご紹介します（・ω・）!
内容が前後してしまいますが、ご了承ください（_）

そもそも文化遺産とは？

文化遺産はその文化を共有する集団の歴史・伝統・風習などを集約した象徴的な存在です。
そこに属する人々にとって、何ものにも代え難い時空を超越した存在であり、世界の他文化に属する多くの人々をも感動させる価値を持っています。

文化遺産国際協力コンソーシアムより



ムガル帝国皇帝 シャー・ジャハーンと妃ムムターズ・マハルはたいへん愛し合った夫婦でした

文化遺産の中でも世界的有名なタージマハル



タージマハル

当時、第三皇子フッラームと名乗っていたシャー・ジャハーンはバザールで出会ったペルシアの美しい娘ムムターズ・マハルに一目惚れしました。フッラームは皇帝の許可を得るとすぐにマハルと婚約しました。当時フッラーム15歳、マハル12歳でした。その5年後、正式に結婚することとなりました。ジャハーンは他の王たちと同じように複数の妻を持つことはせず、外征にも必ずムムターズを伴い、いつも妻をそばに置きました。ムムターズは王にとって、なくてはならない存在だったと解釈できます。しかし1631年、妃は第14子を出産した際に亡くなってしまいます。皇帝の悲しみは深く、最愛の妃を弔うために、最も美しい墓廟を建てることを決めました。それがタージマハルです。22年の歳月をかけて完成させました。左の写真を見てもわかる通り、完璧な対称性を誇るその優美な姿は、「宮殿の光」「宮殿の選ばれし者」という意味の名を持っていたムムターズ・マハルにふさわしいものとなりました。インドの北に位置しているタージマハルはその美しさ故に、世界中から観光客が訪れる人々を魅了しています。

街角スナップ



会社の玄関に飾ってあるお花です♪ツツジでしょうか。社長が近所のお客様からいただいたそうです。長い間、満開の状態が続いているお客様の育て方が良いのだなとたいへん関心しています（^ω^）ピンクの花が会社の茶色の玄関を明るくしてくれていました+*。

ほっと一息



会社の帰り道、車から見た夕焼けの風景です+*. 雲と空がオレンジがかった夕焼け色に染まっていて、とても綺麗でした。思わず車を止めてカメラを向け、しばらく見とれました。会社近くの交差点です。犀川左岸浄化センターさんから見て右側の田んぼの一本道を進んでいくと綺麗な夕焼けが見れると思います！お時間ある方はぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。